

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	行田市家庭教育支援チーム (呼称: 特定非営利活動法人子育てネット行田) URL: http://www.tvg.ne.jp/koso-net18/
活動開始年度	平成12年度
活動拠点	主に子育て支援センター、保育園、幼稚園、小・中学校、高校、市保健センター、市教育委員会、県教育委員会
活動範囲	行田市内外全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (会費、寄付金、事業収益等)
組織体制	60 人 埼玉県家庭教育アドバイザー登録者多数 子育てサポーター 39人
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てサポーター養成講座(県家庭教育振興協、市社協、市教委との共催) ○子育てサロン(毎年9回、子育て相談含む) ○子ども大学ぎょうだ(ものづくり大学、市教委などと実行委員として参画) ○受託事業 <ul style="list-style-type: none"> ①行田市子育て支援センター「きっずプラザ“あおい”」 ②つどいの広場(さくら、みなみかわら、ひがし) ③ブックスタート(行田市立図書館主催事業) ④託児業務(市内小学校PTA授業参観時、市教委・保健センター主催事業の際 等) ○わくわくネット(市教委編集、年3回発行の教育冊子)の編集に参画。 平成12年度以来、毎号2頁にわたる編集を任されている。市内小中学校在籍者の全家庭に配布、市内公共施設等にも設置されている。
活動を通して感じていること (成果、課題など)	上記の活動等において学び・身につけた知識やスキルを地域に活かすとともに、地域ぐるみの子育て支援を実践する中で、孤立しがちな子育て家庭等への声掛けや、つどいの広場などでの子育て相談等を通し、親同士の交流が深まっている。